

# 令和元年度 文教厚生委員会活動報告書【中間報告】

## 1. 活動テーマ（重点調査事項）

健康寿命の延伸について

## 2. そのほか委員会で取り上げたいとして計画書に掲げた調査事項

- ・子どもの命を守る対策について
- ・障がい者に対する施策について

## 3. 活動実績

### ○所管事務調査

#### 1) 令和元年5月15日（水）～17日（金）

内容：①前年度調査結果に対する措置状況について  
②各課における事務事業の内容及び執行状況について

#### 2) 令和元年6月20日（木）

内容：①小室達生誕120年展について  
②柴田町図書館（ふるさと文化伝承館）の施設の状況について

#### 3) 令和元年7月23日（火）～25日（木）

内容：①アスム療育・研修センターの概要と発達障害者支援について（行政視察）  
②柴田町社会福祉協議会の健康増進・介護予防の取り組みについて  
③柴田町地域包括支援センターの介護予防の取り組みについて  
④小学校通学路の状況について（船迫小学校）  
⑤小規模保育事業所の運営及び利用状況について（行政視察）

#### 4) 令和元年10月11日（金）

内容：①歩くまち柴田推進委員会の開催状況について  
②しばた健康づくりポイント事業について

#### 5) 令和2年1月9日（木）、10日（金）

内容：①運動・スポーツ習慣化促進事業について  
②町内中学校の管理・運営状況について

※調査結果は別紙一覧表のとおり

### ○先進地行政視察

令和元年10月30日（水）～11月1日（金）

視察地：①兵庫県川西市（健康寿命延伸に関する取り組みについて）  
②京都府精華町（せいか365プロジェクトについて）  
③大阪府高石市（スマートウェルネスシティたかいしの取り組みについて）

### ○団体懇談会

令和元年12月19日（木）

対象団体：健康推進員（運動普及リーダー）、食生活改善推進委員、介護予防サポーター（わくわく元気応援クラブ） 計12名

懇談テーマ：健康寿命の延伸について（柴田町がもっと「健康なまち」になるためには？）

## 4. 委員会としての現時点での成果及び次年度の方針

重点調査事項である健康寿命の延伸については、所管事務調査、先進地視察、団体懇談会での住民との意見交換などである程度町の課題が見えてきた。残り1年で委員会としての提言をしっかりとまとめたい。

次年度は歩くまち柴田推進委員会の進捗状況などを継続して調査するとともに、委員自らができる範囲で健康づくりを実践し、健康寿命延伸の取り組みを検証する。また、団体懇談会については、男性の引きこもりの実態と対策等について、民生委員との懇談を検討する。

子どもの命を守る対策については、次年度、各小学校の現状（特にいじめ、子どもの貧困問題など）を調査する。障がい者に対する施策については、就労支援施設や支援学校などを視察し、現状把握に努める。

文教厚生常任委員会 所管事務調査結果一覧表（令和元年度）

調査日	調査所管課	調査結果内容
5月15日(水) ～17日(金)	福祉課	○高齢化の進展により認知症対策など、さらに専門的な対応が必要になることから、保健師の確保に努めること。そのために、総務課と連携し、就労していない有資格者の掘り起こしを図られたい。
	子ども家庭課	○新しく民間の事業所が開設する予定もあり、今後さらに保育士の確保が困難になると予想されることから、総務課と連携し、あらゆる方策を講じ、有資格者の掘り起こしに努めること。
	生涯学習課	○各生涯学習センターでは、様々な特色のある事業を行っているが、周知の工夫が必要である。お知らせ版だけではなく、チラシの全戸回覧や、生涯学習カレンダーを見やすくホームページに掲載することなどを検討してはどうか。
	健康推進課	○毎月行っているからだ測定会を周知し、健康への関心を高めるために、各種検診や申告相談の待ち時間などのついでに測定ができる機会を作ってはどうか。
	教育総務課	○昨年度も指摘しているが、20名の定員割れが生じている第一幼稚園については、早急に関係者と協議し、今後のあり方を示すこと。
6月20日(木)	生涯学習課	○資料展示館思源閣の収蔵庫は、常に整理整頓し、適正な管理に努められたい。 ○柴田町が保管している小室達の作品については、デジタルアーカイブするなど、作品の保存方法を検討するとともに、デジタル化された作品は、誰でも気軽に見ることができる方法も検討されたい。 ○しばたの郷土館の企画展の告知については、思源閣及び柴田町図書館に、次回開催予定や年間スケジュールをポスターで掲示するなど、来館者が再度足を運ぶよう、告知方法を工夫すること。 ○図書館の2階スペースは、個人学習で利用する町民が多くいることから、簡易な間仕切りで個別のスペースを設け、集中して学習ができる環境を確保されたい。
7月23日(火) ～25日(木)	福祉課	○町民が自閉症スペクトラムの理解を深めるために、学校や地域等での研修を行うなど、町はアスム療育・研修センターとさらに連携を進められたい。 ○コミュニケーション麻雀や健康麻雀については、健康寿命の延伸や男性の参加が見込めることから、町も社会福祉協議会とともに普及に努められたい。

	教育総務課	○通学路を点検した結果、道路にはみ出している草木や、路側線が消えている箇所、街灯が少ない箇所が見られたので、通学路の安全確保と防犯対策を関係課と連携してさらに推し進めること。
	子ども家庭課	○小規模保育所の事業運営にあたっては、周辺環境整備が重要となる。槻木地区で新たに開設した2カ所の事業所周辺では、南浦公園の砂場のふん対策や幼児用遊具の設置、町道槻木172号線の歩道の整備などが課題となっているため、子ども家庭課が中心となり、課を横断して改善を図られたい。 ○定期的に設けている各保育事業所との話し合いの場を活用し、事業所からの意見や要望などを適切に吸い上げ、対処されたい。
10月11日(金)	健康推進課	○歩くまち柴田推進委員会は、単独の課ではなく各課が横断的に連携し活動していることを評価する。今後さらに、多くの町民が外に出て歩きたくなるような取り組みを進めること。 ○現在のしばた健康づくりポイントカードは、有効期限が年度区切りとなっており、年度途中からの参加者にとっては不利な状況になっていることから、有効期限の見直しを検討すること。 ○みやぎウォーキングアプリの周知を図り、多くの町民に利用してもらえよう働きかけること。
12月7日(金)	教育総務課	○学校給食費値上げについての保護者への説明については、詳細かつ丁寧な説明をして周知徹底を図るよう努めること。
1月9日(木) ～10日(金)	スポーツ振興課	○健康タウンしばたプロジェクト+2019は、普段あまり運動をしていない方が運動するきっかけづくりとなっていることから、次年度も継続されたい。 ○健康タウンしばたプロジェクト+2019は、健康増進や介護予防にも効果があることから、次年度の継続に当たっては、健康推進課や福祉課と連携を図り実施されたい。 ○今回養成した運動普及リーダーの活躍の場を設けるため、モデル事業として数地区での「スポーツカフェ」の実施を検討すること。

	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"><li>○普通学級においても支援が必要な生徒が多いことや特別支援学級数の増加など、各学校の実情に応じて、特別支援教育支援員を加配すること。</li><li>○各学校の吹奏楽の楽器等が老朽化していることから、年次計画を立て更新すること。なお、財源確保に当たっては、ふるさと柴田応援寄附金に楽器購入事業のメニューを設けてはどうか。</li><li>○教職員の働き方改革の一環として、校務処理ソフトの導入について検討されたい。</li><li>○故障した船迫中学校体育館のジェットヒーターを更新されたい。</li></ul>
--	-------	---